

D 健康・安全部 健康でたくましい子

○心や体の健康について様々な場面を通して学び、自分の命を大切にすることを児童を育む

- ・防災教育の推進
- ・体力・運動能力の向上、健康な心と体づくり
- ・テーマに基づいた食育の推進
- ・安全な登下校への取組み

評価対象	項目	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	思わない	分からない
児童	10 病気・けが・災害・交通事故から身を守ろうと気を付けて生活しています。	67%	22%	4%	2%	5%
	11 健康な心と体を作るために、元気に外遊びをしています。	53%	21%	12%	12%	2%
	12 給食は、自分に合った量を美味しくいただいています。	68%	23%	5%	1%	3%
	13 事故に気を付けて安全に登下校することができます。	66%	26%	4%	2%	2%
教職員	14 学校は安全管理や安全指導に留意して、事故や災害に向けての意識を高める取り組みをしている。	66%	31%	3%	0%	0%
	15 自ら体力向上を目指し、健康な生活を実践しようとする児童を育てる指導を推進している。	40%	46%	6%	0%	8%
	16 児童が食文化や食に関わる人々に対して感謝の心を持ち、健全な食の知識・技能を身に付ける指導を推進している。	54%	31%	6%	0%	9%
	17 学校は、安全な登下校(交通事故防止)への取り組みを推進している。	77%	23%	0%	0%	0%
保護者	12 ご家庭で、子どもの健康につながる基本的な生活習慣が身につくよう取り組んでいる。	44%	46%	7%	1%	2%
	13 ご家庭で、病気・けが・災害の対応や 不審者対応等について児童と話をしている。	43%	44%	10%	2%	1%
	14 ご家庭で食文化や食に関わる人々に対して感謝の心を持ち、食べる大切さを教えている。	44%	39%	15%	1%	1%
	15 お子さんは 安全な登下校(交通事故防止)の意識が高まっている。	40%	45%	11%	2%	2%
地域 (コミュニティ・ スクール関係の 方々)	7 児童に登下校時の交通安全や不審者対応等に関する危機意識が育つような働きかけをしている。	27%	35%	0%	11%	27%

【考察】

- ①児童アンケート「健康な心と体を作るために、元気に外遊びをしています」で、「ややそう思わない」と「そう思わない」が24%。
⇒ 体育委員会の取り組みなどで外遊びの習慣をつけさせ、外遊びの一層の推進を図ります。外遊びの良さを伝え、外遊びの機会を増やしていきたいです。
- ②児童アンケート「給食は、自分に合った量を美味しくいただいています。」で「そう思う」「ややそう思う」合わせて91%
⇒ 高評価を得ましたが、その学年の目安となる量を食べていない実態が給食の残量から伺えられ、給食指導の難しさを感じています。自己評価は高いことから、残すことに抵抗のない子が多いことが分かりました。実態を把握し、今後、食育の推進を更に進める必要を感じています。
- ③児童アンケート「事故に気を付けて安全に登下校することができます。」で、「そう思う」「ややそう思う」合わせて92%
⇒ 高い評価を得ましたが、大きな交通事故が今年度3件起きている実態があります。下校の時に広がって帰っていたり、走っていたりと認識の低さを感じる児童も少なくありません。保護者アンケート15からも学校・児童・保護者の意識と実態に差が見られます。学校を離れた時の「命を守る教育」については、ご家庭と連携し更に推進していく必要を感じています。
- ④保護者アンケート「ご家庭で、子どもの健康につながる基本的な生活習慣が身につくよう取り組んでいる」「そう思う」「ややそう思う」合わせて90%。
⇒ 高評価を得ましたが、顔見知りの方への挨拶の様子や、生活アンケートから見取る「短い睡眠時間の結果」等については、疑問が残る部分があります。もう一度、ご家庭で「挨拶」や「睡眠時間」についてお子さんと話し合う機会を設けて頂けたら幸いです。
- ⑤保護者アンケート「ご家庭で、病気・けが・災害の対応や 不審者対応等について児童と話をしている。」
⇒ 「ややそう思わない」と「そう思わない」で12%という評価を得ました。ご家庭で毎日忙しく過ごしている保護者様が居ることを実感しています。しかし、子どもの命を守る観点については、ご家庭での指導が不可欠です。ご理解ご協力のほど、どうぞ宜しくお願いいたします。
- ⑥保護者アンケート「お子さんは 安全な登下校(交通事故防止)の意識が高まっている。」で、「そう思う」「ややそう思う」合わせて85%。
⇒ 評価は高いですが、100%できているということには繋がってはいけません。この項目については、より高い評価を目指したいところです。相模が丘小学校学区は、歩道が狭く見通しが悪い箇所が多く、交通量も多いです。大きな事故を絶対に起こさないためにも、学校と連携し、実態を踏まえた安全教育にご協力を頂きたいと願います。
- ⑦地域「児童に登下校時の交通安全や不審者対応等に関する危機意識が育つような働きかけをしている。」について
⇒ 「分からない」が27%なのは、設問に「誰が」を強調する言葉が欠けているからだと思いました。来年度は、主語を明確にしていきたいです。
- ⑧災害時の待ち合わせの場所のプリントなど(4年生防災で扱う内容)を1年生の保護者説明会で渡したり、災害伝言ダイヤルを音読の宿題として4年生以上の学年で実施したりするなど、学校での取り組みも来年度見直ししていきたいです。